



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結) 平成17年8月4日

上場会社名 株式会社オリエンタルランド

(コード番号: 4661 東証第一部)

(URL <http://www.olc.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 福島 祥郎  
 問合せ先責任者 役職名 経理部長 氏名 水嶋 健次郎  
 役職名 広報部長 氏名 安岡 譲治

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績概況(平成17年4月1日~平成17年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	69,647	1.0	2,301	28.9	1,438	59.3	528	63.5
17年3月期第1四半期	70,349	0.7	3,237	31.3	3,532	9.0	1,447	-
(参考)17年3月期	331,094		34,561		30,836		17,224	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第1四半期	5.32		-	
17年3月期第1四半期	14.46		-	
(参考)17年3月期	171.19		-	

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率  
 四半期純利益については前四半期より開示を行っているため、前四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループでは、主力事業である2つのテーマパークにおいて、それぞれの特色を生かしたスペシャルイベントを実施いたしました。また、2つのディズニーホテルやイクスピアリなどの各施設において積極的な営業施策を実施するなど、「テーマリゾート」としての魅力を提供いたしました。

しかしながら、2つのテーマパークにおいてゲスト一人当たり売上高は前年同期を多少上回ったものの、入園者数が前年同期をやや下回ったことなどから、売上高は69,647百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

費用面につきましては、パーム&ファウンテンテラスホテル開業による営業費用の発生などがあり、その結果、営業利益は2,301百万円(同28.9%減)となりました。

また、経常利益は、前年同期に発生したレバレッジドリース投資利益が当期は発生しなかったことなどから1,438百万円(同59.3%減)となり、四半期純利益は528百万円(同63.5%減)となりました。

(テーマパーク事業)

東京ディズニーランドでは、4月から50年前のアメリカン・オールディーズの世界をテーマにしたスペシャルイベント「ディズニー・ロック・アラウンド・ザ・マウス」を実施しております。また、東京ディズニーシーでは、5月からアラジンとその仲間たちが海を舞台に繰り広げるスペシャルイベント「アラジンのホールニューワールド」を実施し、大変好評を博しております。こうした様々なイベントを実施したものの、前期は、4月に東京ディズニーランドに新アトラクション「バズ・ライトイヤーのアストロブラスター」がオープンしたことによる初期導入効果があったため、入園者数は前年同期をやや下回りました。

なお、テーマパークのゲスト一人当たり売上高については、商品販売において東京ディズニーランドではレギュラー商品が、東京ディズニーシーではスペシャルイベント関連商品といった新たに投入した商品が好調だったことなどにより、前年同期を多少上回りました。

東京ディズニーシー・ホテルミラコスタでは、東京ディズニーリゾートにあるもう一つのディズニーホテル、ディズニーアンパサダーホテルの開業5周年を記念した“Gala”アニバーサリーディズニーホテル・スペシャルプログラムとして、東京ディズニーシーに開園30分前からご入園頂ける「東京ディズニーシー・アーリーエントリー」など、様々なイベントを実施したものの、客室稼働率は前年同期をやや下回りました。

以上の結果、テーマパーク事業の売上高は57,624百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

(複合型商業施設事業)

イクスピアリでは、街の住人である“マイスター”(巨匠・職人)たちが各店舗のこだわりやサービスなどを提案し、イクスピアリをさらにお楽しみいただく「イクスピアリ・マイスター・フェスティバル」や、映画にちなんだ「イクスピアリ・ムービー&ファン」などのイベントを開催するなど、販促活動を積極的に実施いたしました。

ディズニーアンパサダーホテルでは、レストランにおいて開業5周年を記念したスペシャルメニューを展開したほか、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ同様「東京ディズニーシー・アーリーエントリー」など、様々なイベントを実施したものの、客室稼働率は前年同期をやや下回りました。

以上の結果、複合型商業施設事業の売上高は4,810百万円(前年同期比4.6%減)となりました。

(リテイル事業)

ディズニーストアでは、4月に「ディズニーストア町田109店」をオープンしたほか、各店において、ディズニー映画『おしゃれキャット』に登場する白猫マリーをモチーフにした「LOVE・Marieキャンペーン」など、積極的な営業施策を行いました。

しかしながら、リテイル事業の売上高は4,665百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

(その他の事業)

ホテル事業では、2月に開業したパーム&ファウンテンテラスホテルが期間を通じて売上高に寄与しました。

また、モノレール事業では、ディズニーリゾートラインにおいて、東京ディズニーリゾートを訪れた多くのゲストに引き続きご利用いただきました。

以上の結果、その他の事業の売上高は2,547百万円(前年同期比51.0%増)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	632,647	357,966	56.6	3,763.29
17年3月期第1四半期	630,621	374,049	59.3	3,735.96
(参考)17年3月期	660,224	389,606	59.0	3,890.51

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

（資産の部）

当第1四半期末の資産の部合計は、632,647百万円（前期末比4.2%減）となりました。

流動資産は、4月に第5回無担保社債（10,000百万円）を償還したことに伴う運用資産の減少などにより70,419百万円（同21.4%減）となりました。

また、固定資産は、東京ディズニーリゾート各施設の減価償却が進んだことなどにより562,217百万円（同1.5%減）となりました。

（負債の部）

当第1四半期末の負債の部合計は、274,581百万円（前期末比1.5%増）となりました。

流動負債は、第5回無担保社債を償還した一方、第2回無担保社債（30,000百万円）の固定負債からの振替があったことなどにより、79,628百万円（同5.1%増）となりました。

また、固定負債は、第2回無担保社債の流動負債への振替があった一方、6月に実施した自己株式取得の資金手当てのため、長期借入金（31,000百万円）が増加したことなどにより、194,953百万円（同0.1%増）となりました。

（資本の部）

当第1四半期末の資本の部合計は、自己株式の取得に伴う減少などにより357,966百万円（前期末比8.1%減）となりました。また、株主資本比率は56.6%（対前期末2.4ポイント減）となりました。

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中 間 期	165,700	14,100	12,300	7,300
通 期	346,600	36,900	32,600	19,200

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 200円96銭

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

当第1四半期の経常利益・当期純利益の通期予想に対する進捗率は、それぞれ4.4%・2.8%となっておりますが、これは主にテーマパークの事業特性のひとつである季節変動要素（夏休みやクリスマスを含む、第2・第3四半期の売上高・利益の年間に占めるウェイトが大きいこと）に起因するものです。

当第1四半期の業績は、テーマパーク事業において入園者数は計画に対しやや下回ったものの、通期の業績に与える影響は軽微であると考えていることから、中間期及び通期の業績見込につきましては、平成17年5月9日に発表いたしました数値と現時点では変更ありません。

（注）上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当 四 半 期 連 結 会 計 期 間 末 (平成17年6月30日現在)		前 四 半 期 連 結 会 計 期 間 末 (平成16年6月30日現在)		前 年 同 期 比 較 ( 印 減 )		前 連 結 会 計 年 度 の 要 約 連 結 貸 借 対 照 表 (平成17年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減	前 期 比	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%		%		%
・流動資産								
1 現金及び預金	38,522		37,582		940		47,678	
2 受取手形及び売掛金	8,375		7,930		444		11,455	
3 有価証券	1,599		9,463		7,863		10,048	
4 たな卸資産	8,906		7,701		1,204		8,099	
5 その他	13,015		7,984		5,030		12,335	
6 貸倒引当金	0		0		0		1	
流動資産合計	70,419	11.1	70,662	11.2	243	0.3	89,616	13.6
・固定資産								
(1)有形固定資産								
1 本勘定	500,119		502,206		2,086		508,621	
2 建設仮勘定	14,083		8,776		5,307		12,100	
有形固定資産合計	514,203	81.3	510,982	81.0	3,220	0.6	520,721	78.9
(2)無形固定資産	11,626	1.8	12,886	2.0	1,260	9.8	11,615	1.7
(3)投資その他の資産								
1 その他	36,572		35,919		653		38,439	
2 貸倒引当金	184		215		30		181	
投資その他の資産合計	36,388	5.8	35,703	5.7	684	1.9	38,258	5.8
固定資産合計	562,217	88.9	559,573	88.7	2,644	0.5	570,594	86.4
・繰延資産	10	0.0	386	0.1	375	97.4	13	0.0
資産合計	632,647	100.0	630,621	100.0	2,025	0.3	660,224	100.0
(負債の部)								
・流動負債								
1 支払手形及び買掛金	9,683		9,851		167		14,585	
2 一年以内に償還する社債	30,000		10,000		20,000		10,000	
3 一年以内に返済する長期借入金	2,000		18,200		16,200		5,200	
4 未払法人税等	865		1,235		370		7,280	
5 その他	37,079		34,991		2,087		38,666	
流動負債合計	79,628	12.6	74,278	11.8	5,349	7.2	75,732	11.5
・固定負債								
1 社債	120,000		150,000		30,000		150,000	
2 長期借入金	50,000		5,000		45,000		19,000	
3 その他	24,953		27,195		2,242		25,778	
固定負債合計	194,953	30.8	182,195	28.9	12,757	7.0	194,778	29.5
負債合計	274,581	43.4	256,474	40.7	18,107	7.1	270,510	41.0
(少数株主持分)								
少数株主持分	98	0.0	98	0.0	0	0.2	107	0.0
(資本の部)								
・資本金	63,201	10.0	63,201	10.0	-	-	63,201	9.6
・資本剰余金	111,403	17.6	111,403	17.7	-	-	111,403	16.9
・利益剰余金	209,165	33.1	196,215	31.1	12,950	6.6	210,725	31.9
・その他有価証券評価差額金	4,459	0.7	3,238	0.5	1,220	37.7	4,288	0.6
・自己株式	30,262	4.8	9	0.0	30,253	-	11	0.0
資本合計	357,966	56.6	374,049	59.3	16,082	4.3	389,606	59.0
負債、少数株主持分及び資本合計	632,647	100.0	630,621	100.0	2,025	0.3	660,224	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

期 別 科 目	当四半期連結会計期間 〔自平成17年4月1日 至平成17年6月30日〕		前四半期連結会計期間 〔自平成16年4月1日 至平成16年6月30日〕		前 年 同 期 比 較 ( 印 減 )		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 〔自平成16年4月1日 至平成17年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増 減	前期比	金 額	百分比
		%		%		%		%
・ 売 上 高	69,647	100.0	70,349	100.0	702	1.0	331,094	100.0
・ 売 上 原 価	59,972	86.1	59,717	84.9	254	0.4	264,989	80.0
売 上 総 利 益	9,675	13.9	10,631	15.1	956	9.0	66,105	20.0
・ 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	7,373	10.6	7,394	10.5	21	0.3	31,543	9.6
営 業 利 益	2,301	3.3	3,237	4.6	935	28.9	34,561	10.4
・ 営 業 外 収 益	416	0.6	1,852	2.6	1,435	77.5	3,014	0.9
・ 営 業 外 費 用	1,280	1.8	1,557	2.2	277	17.8	6,740	2.0
経 常 利 益	1,438	2.1	3,532	5.0	2,093	59.3	30,836	9.3
・ 特 別 利 益	-	-	-	-	-	-	578	0.2
・ 特 別 損 失	-	-	645	0.9	645	-	966	0.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,438	2.1	2,886	4.1	1,448	50.2	30,447	9.2
法人税、住民税及び事業税	1,016	1.4	1,178	1.6	161	13.7	12,909	3.9
法 人 税 等 調 整 額	97	0.1	268	0.4	366	-	312	0.1
少数株主利益(は損失)	8	0.0	7	0.0	0	-	1	0.0
四半期(当期)純利益	528	0.8	1,447	2.1	919	63.5	17,224	5.2